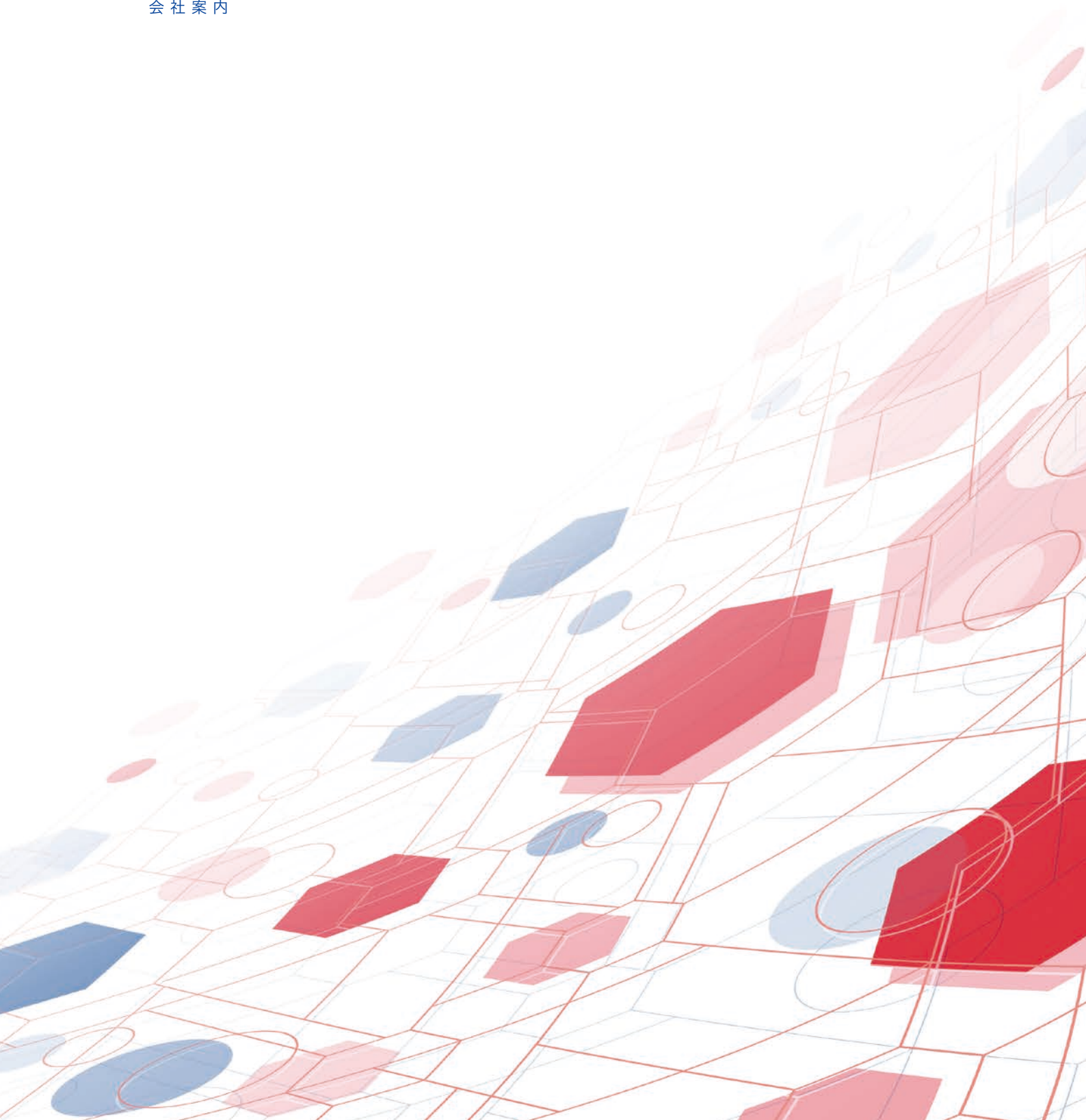




Company Profile

会社案内



世界の市場構造が大きく動いている今、 長年培ってきた高分子技術を基盤に、 “KOBUNSHI”で存在感を示せる企業を目指します



経営理念

限りない創造 社会への奉仕



目次

中長期経営計画（2030事業計画）	3
事業領域	6
製品紹介	8
沿革	18
グローバルネットワーク	20
会社データ	23

当社は、1949年の設立以来 70有余年にわたり、合成ゴムや合成樹脂およびその配合技術をベースに、開発・設計、調達、生産、販売に関わるさまざまなステークホルダーの皆様と連携をしながら総合力を発揮し、機能および品質の高い製品・サービスを提供しています。主要材料と「新しいものを生み出す」ことを理念として社名に「合成」を用いており、そのマインドは今日まで受け継がれてきました。

現在、自動車業界は電動化や自動運転の進展など大きな変革期を迎えています。加えて、人の価値観の変化、環境・社会課題の深刻化、地政学リスクなど、先行きの見通しが立てづらい不透明で不確実な状況にあり、経営としては大変難しい舵取りが求められます。

そのような状況の中で、2030事業計画（2023年8月公表）を考えるにあたり、改めて社是に向き合い、自社の存在価値を問い直しました。その上で、社会的価値と経済的価値を両立させ、持続的成長を実現するため、経営の体制を新たにするとともに中長期の方向性を指し示すものとして策定しました。

その実現に向けて、社は「**限りない創造 社会への奉仕**」を掲げ、これまで諸先輩方が築き上げてきた「高分子」を基盤にした有形・無形の資産を大切に守りながら、自らを大きく変え、チャレンジしていく所存です。

長きにわたり培われた資産は、技術や製品分野、管理技術などにとどまらず、風土に根差しており、一人ひとりの考え方や行動として脈々と受け継がれています。

六角形のベンゼン環に象徴されるように、さまざまな分子＝個人が集まり、有機的につながり、発想や創造性の化学反応を起こし、組織を構成しながら、環境に応じてその形を柔軟に変えて適応していく。また、他の組織（あらゆるステークホルダー）とつながり、発展的に広がっていく。

このような「人」と「組織」の活性化を進め、事業環境の変化にも適応したチャンスを捉えていける会社にし、「豊田合成っておもしろい会社だね」「何かやってくれるよね」と世の中から期待され、持続的に成長していける会社を目指します。

私たち豊田合成グループは「**ONE TEAM, ONE TG.**」のスローガンを基に、世界 16カ国 / 地域の 60のグループ会社、従業員 4万人が総力を結集し、これまでも、これからも、移動と暮らしをより良く豊かにする「安心・安全」「快適」「脱炭素」をカタチにして、世界中のお客様へお届けします。

中長期経営計画（2030事業計画）

当社はモビリティ社会の変化に対応した社会的価値の提供を通じて、将来にわたる持続的な事業成長を実現するための中長期経営計画として「2030事業計画」を策定しました。

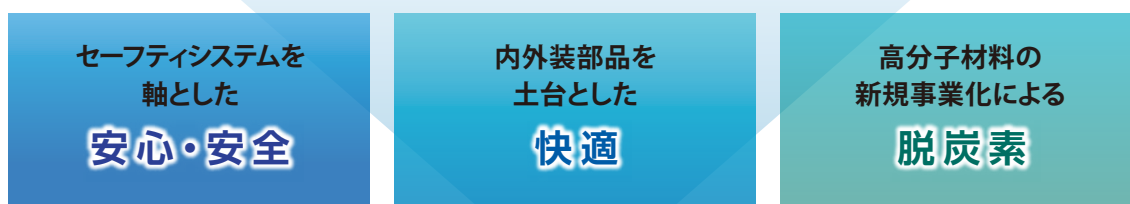
目指す姿に「高分子の可能性を追求し、より良い移動と暮らしを未来につなぐ会社」を掲げ、セーフティシステムを軸とした「安心・安全」、内外装部品を土台とした「快適」、高分子材料の新規事業化による「脱炭素」という価値を社会にお届けしていきます。



〈目指す姿〉

高分子の可能性を追求し、
より良い移動と暮らしを未来につなぐ会社

〈提供価値〉



〈基本方針と重点施策〉

〔基本方針〕 社会的価値と経済的価値を両立させる分野に注力
(事業ポートフォリオの組み換え)

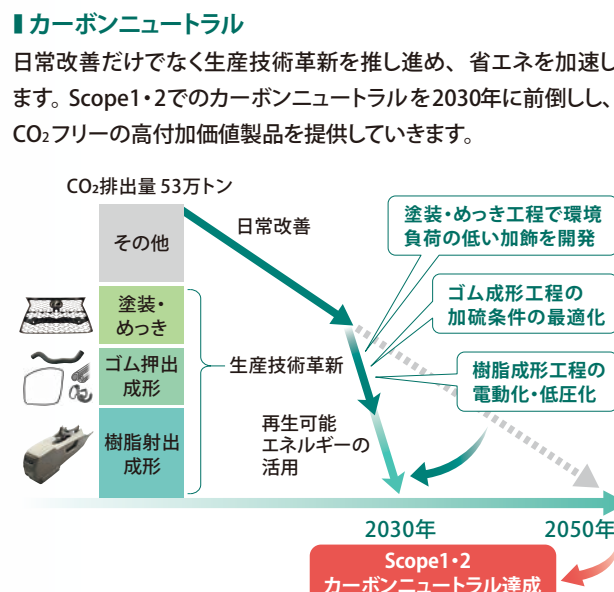
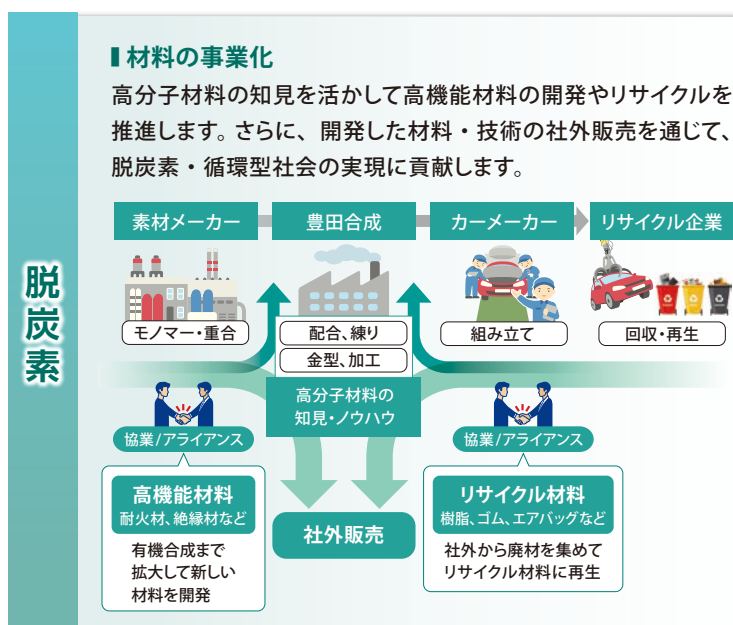
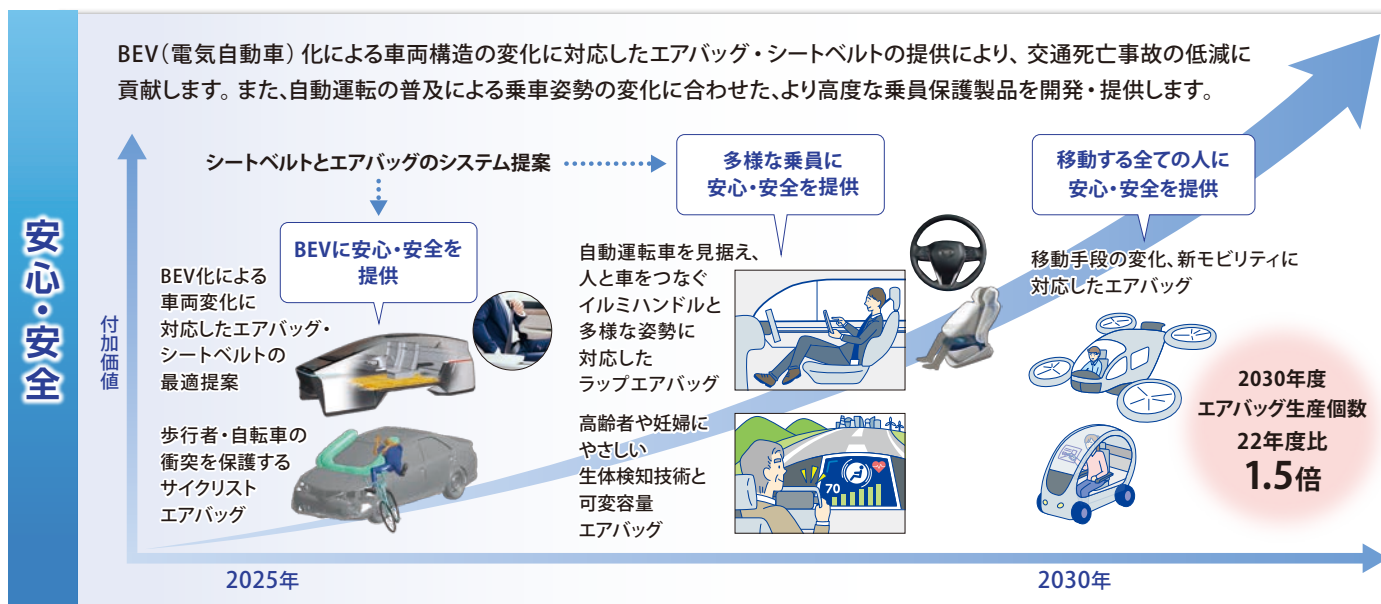
〔重点施策〕

- 重点事業・地域・顧客での成長に向けた構造改革
(セーフティシステム・内外装・材料事業、北米・インド・中国の現地カーメーカーへの拡販)
- グローバル成長を加速する戦略的アライアンス、開発・知財の戦略的強化
- 人と組織が有機的に結合した高分子型組織による経営革新

〈2030年度 経営目標〉

売上収益 1兆2,000億円	営業利益 1,000億円	営業利益率 8%	ROE 10%
-------------------	-----------------	-------------	------------

◆ 中長期経営計画（2030 事業計画）



▶安心・安全への貢献

セーフティシステム製品は、BEVや自動運転技術の普及に伴い、機能と性能の両面で進化が求められています。このようなニーズに対応し、より安全で安心なモビリティ社会の実現に貢献していくため、当社と芦森工業は資本業務提携に基づく協業を深化・加速させています。また、競争が激化する中国市場や、自動車生産が伸びるインドで現地開発機能を強化し、カーメーカーへの開発ニーズへの対応の迅速化を進めています。



TG中国の本社・技術センター



豊田合成
テクニカルセンターインディア

▶快適への貢献

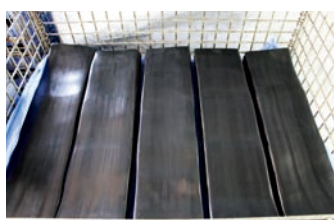
BEVなどの生産性向上に貢献するために、骨格部品と外装部品をモジュール（複合部品）として供給する新たな技術を開発しています。骨格部品の樹脂化による車の軽量化と周辺部品の一体化による組み立て工数の削減を目指しています。

今後は日本のほか、北米や中国、インドのカーメーカーへ提案していきます。



▶脱炭素への貢献

森町工場のゴムのリサイクル工程では、ウェザーストリップの生産時に発生する廃材を、高品質な原材料に再生できる独自技術を活用し、従来は焼却処分していたゴム廃材の再利用を拡大しています。将来的に廃車からゴムを回収する循環システムの確立も目指しており、今後カーメーカーなどとの連携を進めていきます。



再生ゴム

貢献領域の拡大

自動車部品に限らず製品を幅広く展開し、より多くの人々に社会的価値を提供します。そのために、CVC活用と新価値創造の体制を強化し、新規事業の早期具現化を図ります。

コーポレート・
ベンチャー・
キャピタル(CVC)の活用

+

アイデア創出と
事業化見極めを
高速で繰り返す

ヘルスケア



スマート
インソール



血糖値
測定器

エネルギー



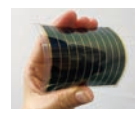
高圧水素タンク



GaN
パワー半導体



マイクロ波
給電



ペロブスカイト型
太陽電池

2025年

2030年

人と組織の 活性化

2030事業計画推進のため、会社をゲンキにする「人と組織の活性化」に取り組みます。また、環境変化に感度良く対応し、ダイナミズムに満ちた企業風土と人づくりを図ります。

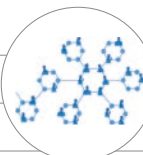
組織パワーアップ（ダイナミズムに満ちた高分子型組織へ）

- 一人ひとりの個性、ゲンキ、パワーを引き出し
有機的な結合により創造性とパワーを結集
- 社内外の組織のつながりを強化
- 自在に形を変え、環境変化へ柔軟に対応
- マネジメントを触媒とし、仕事のスピードアップ、成果を増大させる

一人ひとりの自己実現（失敗を恐れずに変える・変わる）

従業員エンゲージメント向上（居場所と舞台と光）

マネジメントスタイルの変革



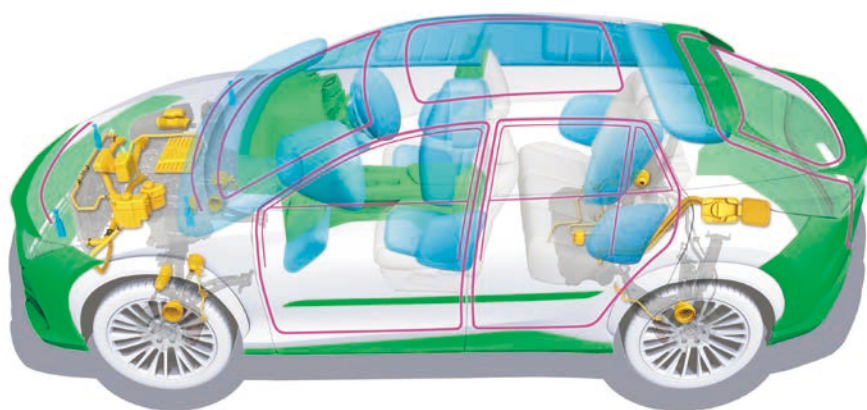
戦略性と推進スピード向上（環境変化への感度・スピード感）

- CxO制度による戦略性の向上、意思決定スピードアップ
（戦略推進、BEVおよびリサイクルのリード組織の設立）
- 重点市場と向き合った地域自立的経営の確立
- CoE※により地域のヤル気とパワーを引き出す

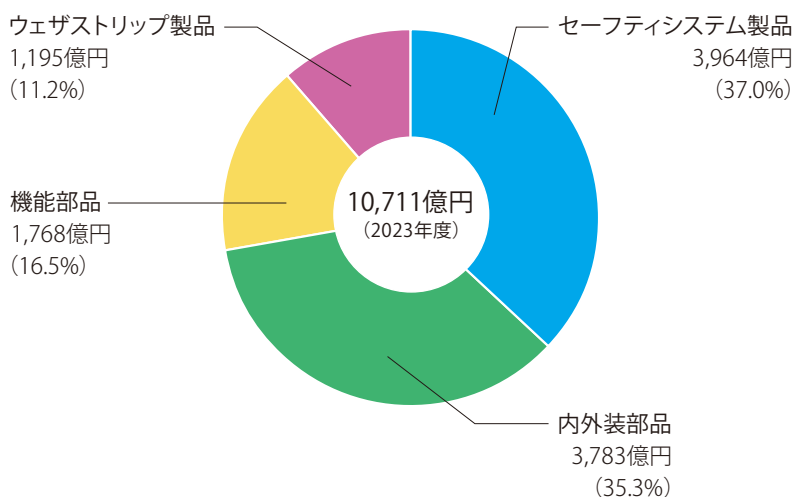
※ CoE（センターオブエクセレンス）の思想で各地域の強みをグローバルに展開
ex. タイの低コスト・省エネな生産自動化技術
中国・北米のナショナル人材の育成・登用手法

ゴム・樹脂の自動車部品を開発・生産しています。

開発から生産まで一貫したモノづくり体制を整え、
安心・安全で快適なクルマづくりなどに貢献する
さまざまな製品を提供しています。



製品領域別売上収益(売上比率) (単位：億円未満切り捨て)



自動車部品



セーフティシステム
製品



内外装部品



機能部品



ウェザストリップ製品

ライフソリューション製品



LED製品



各種エアバッグ



ハンドル(エアバッグ内蔵)



ポップアップフードアクチュエータ



インストルメントパネル・構成部品



トップコートレスホットスタンピンググリル



コンソールボックス



樹脂フューエルフィルターパイプ



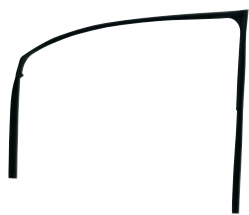
冷却配管



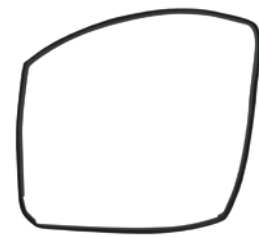
ブレーキホース



高圧水素タンク



ドアガラスラン



オープニングトリムウェザーストリップ

その他



空気清浄機(特機製品)



e-Rubber製品

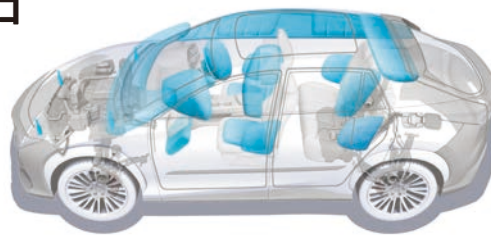


エシカルブランド Re-S (リーズ)

セーフティシステム製品

各種エアバッグにより、さまざまな角度の衝突から乗員を保護する360°フルカバーを実現。また歩行者保護製品や自動運転にも対応するHMI（ヒューマン・マシン・インターフェイス）機能を付与したハンドルを提供。

それらにより交通事故死傷者の削減に貢献し、今後も移動するすべての人々に安心・安全を提供し続けていきます。



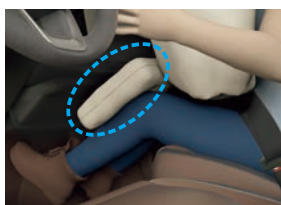
■ 前面衝突エアバッグ



1 運転席エアバッグ

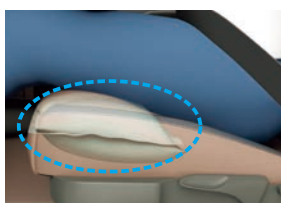
2 助手席エアバッグ

ハンドル中央部やインストルメントパネルから膨らみ、頭や胸を保護します。



3 ニーエアバッグ

インストルメントパネルの下から膨らみ、下肢を支え、乗員の前方移動を抑制し、安全な姿勢に保ちます。



4 シートクッションエアバッグ

シートの座面の中で膨らみ、大腿部を支え、乗員の前方移動を抑制し安全な姿勢に保ちます。

側面衝突エアバッグ



5 カーテンエアバッグ

天井の内張りから窓枠を覆うように膨らみ、頭を保護します。



6 サイドエアバッグ

シートの背もたれから乗員とドアの間に膨らみ胸や腹、腰を保護します。



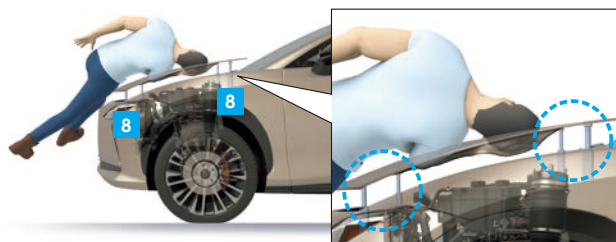
7 センターエアバッグ (ファースイドエアバッグ)

シートの背もたれから膨らみ、一人乗車の際は反対側の座席のドアや内張りとの衝突から保護し、二人乗車の際は乗員同士の衝突から保護します。

歩行者保護

8 ポップアップフードアクチュエータ

ボンネットを持ち上げ、エンジンルーム内の硬い部品との間に隙間を設け頭部を保護します。



9 歩行者保護エアバッグ

硬い窓枠周辺で膨らみ、歩行者の頭を保護します。



ハンドル

これまでグリップセンサや振動機能を持つハンドルを提供してきました。自動運転などの普及に対応し、人とクルマをつなぐ新たなHMI(ヒューマン・マシン・インターフェイス)機能を付与したハンドルの開発を進めています。

現行ハンドル



次世代ハンドル



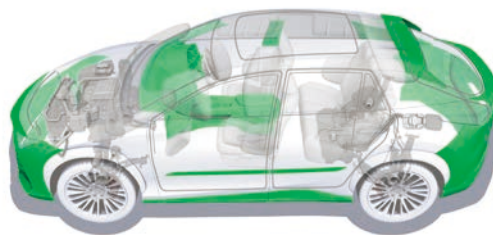
ドライバー通知イルミ

グリップセンサ

すでに市場投入しているグリップセンサ機能に加え、運転状況(自動/手動)や周囲の安全に関する状況を通知するイルミ機能を搭載。

内外装部品

快適で魅力的な車内空間と外観の実現に貢献します。



I 内装部品

インストルメントパネル・構成部品



オーナメントパネル



レジスタ



コンソールアッパー



カップホルダー



クラブボックス



コンソールボックス

収納扉は日本古来のからくり技術を用いることで、モーターなどを使わずスムーズに開閉。革・木目調パネルにより高級感を演出します。



LED通知 イルミネーション

光による注意喚起機能を装飾照明に付加。安心で快適な移動空間の創出に貢献しています。



小型ワイヤレス 充電ホルダ

充電器の構造を簡素化したことで従来品と比べ60%小型化し、限られたスペースでも搭載できます。



LED陰影 イルミネーション

光の陰影を用いた模様で、夜の車内空間を新鮮な印象に演出します。



ヒータ付きアームレスト



イルミスカッププレート



フロントピラーガーニッシュ



アシストグリップ



LEDルームランプ



LEDランプユニット

外装部品

ラジエータグリル

塗装やめっき、ホットスタンプなどの加飾技術と精密な成形技術によりさまざまなデザインに対応できます。



トップコートレスホットスタンプグリル



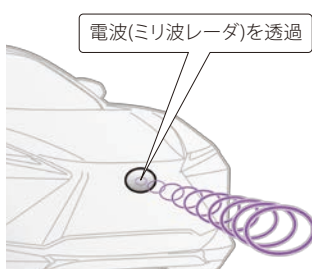
リアスポイラー



バックドア
ガーニッシュ

発光機能付きミリ波レーダ対応エンブレム

ミリ波レーダの透過機能と発光機能を併せ持つ、新たなエンブレムを世界で初めて開発しました。



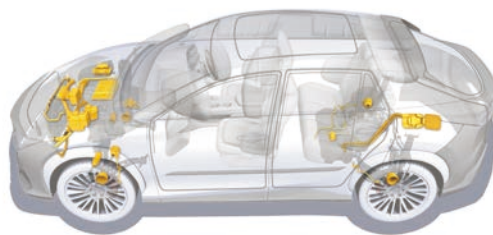
エンブレム(発光時)

ミリ波レーダ対応エンブレム



機能部品

「走る」「曲がる」「止まる」といったクルマの基本性能をサポート。
重要な保安部品として、高い品質を確保しています。



燃料タンク周辺部品



フューエルホース & チューブ
(写真はエンジン側ホースを含む)



ロックナット・ポンプガスケット



カットオフバルブ

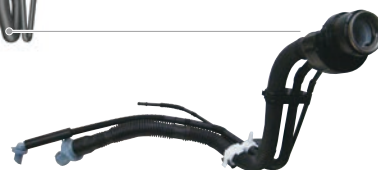


フューエルフィルターキャップ

キャップレス給油口



フューエルフィルターホース



樹脂フューエル
フィルターパイプ

特性の異なる部分(柔軟部・剛性部・ストレート部)の一体成形により強度を確保。パイプの多層構造により樹脂の耐燃料性・耐久性を向上し、従来の金属パイプより約50%軽量化しました。



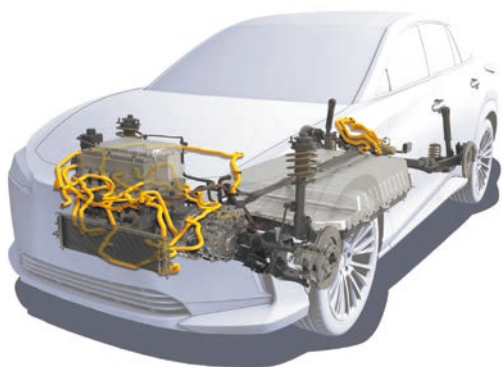
高圧水素タンク

燃料電池自動車(FCEV)の主要部品の一つ。水素を高圧(約700気圧)に圧縮して効率的に貯蔵します。

フィルリミットメントバルブ

インレットチェックバルブ

バッテリー周辺部品



冷却配管



バッテリーを適正な温度に保つことで電池の長寿命化につなげるとともに、クルマの航続距離の延長にも貢献しています。



バッテリー冷却ダクト



バッテリー絶縁プレート

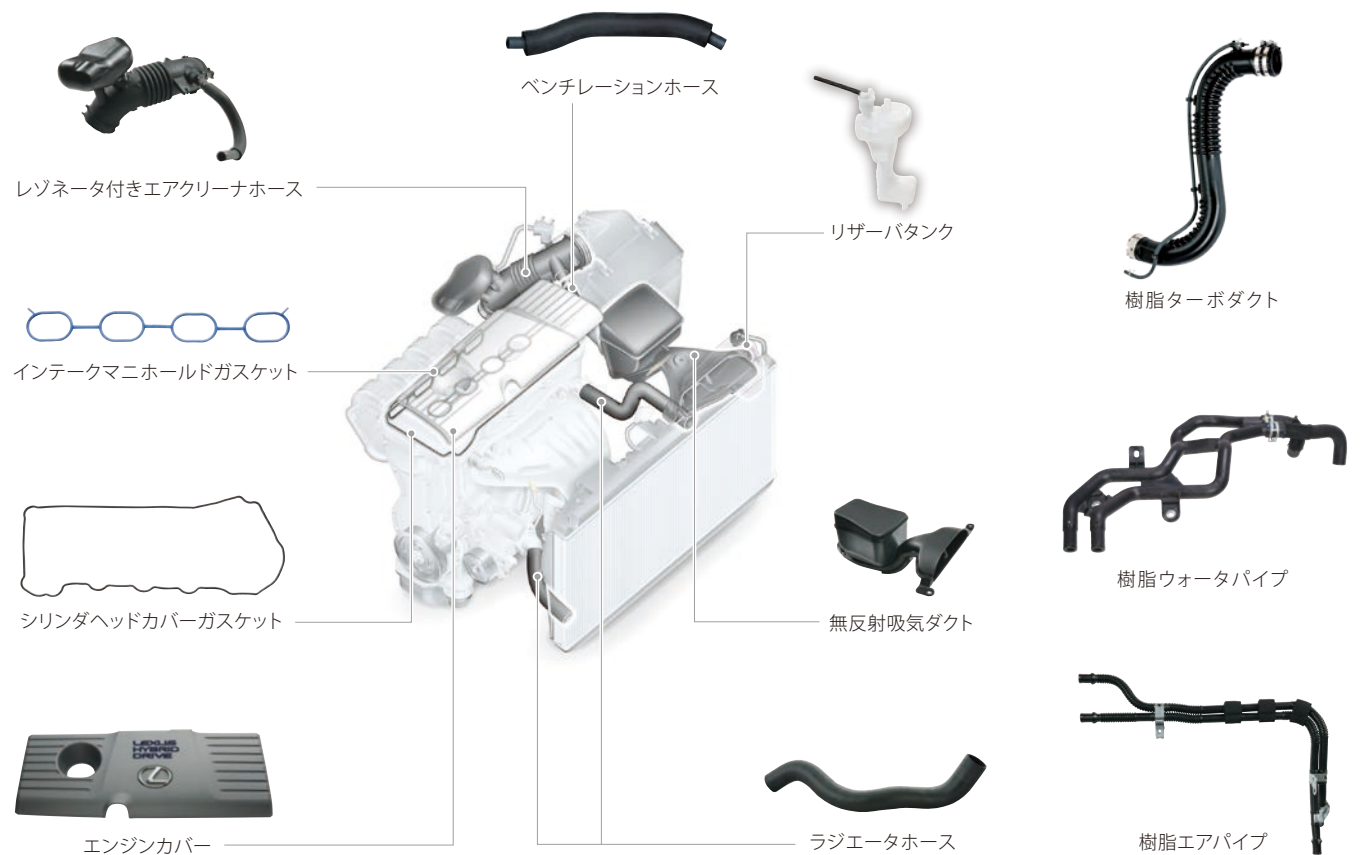


バッテリーケース



インバータカバー

エンジン周辺部品

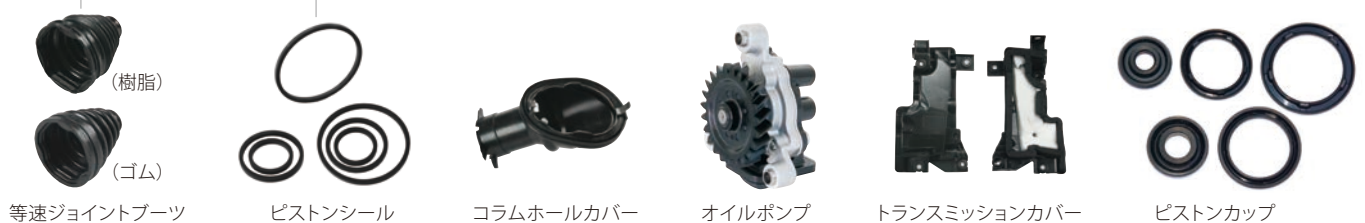


シャシー・ドライブトレイン系部品



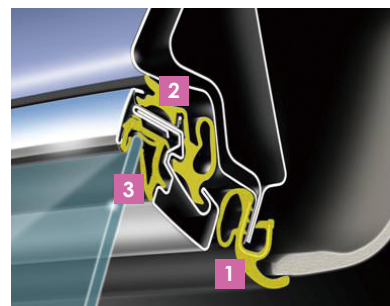
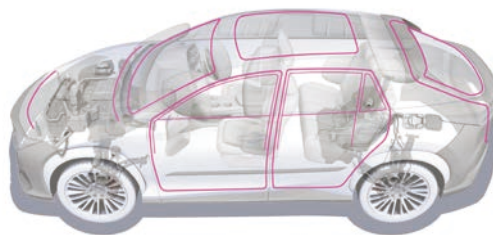
ブレーキホース

「止まる」に直結する重要な部品であり、500万回以上の耐久試験をクリアしています。



ウェザストリップ製品

ドアや窓枠に装着して隙間をふさぎ、雨・風・騒音を遮断。
快適な車内空間に不可欠な部品です。



ヒドウンドア



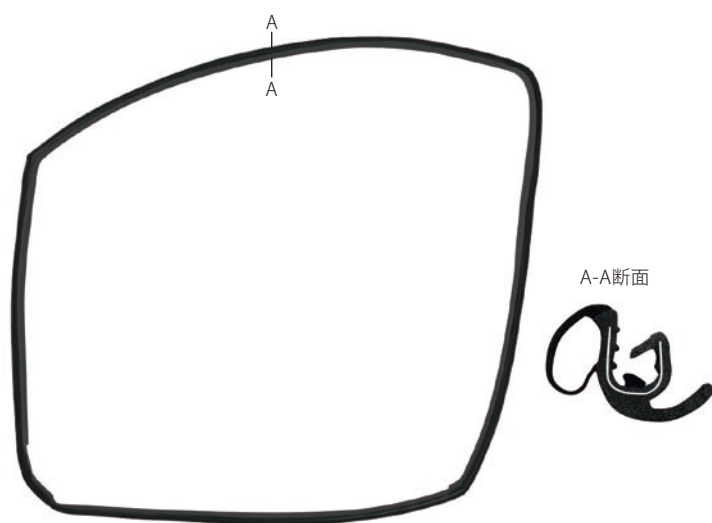
サッシュドア



プレスドア

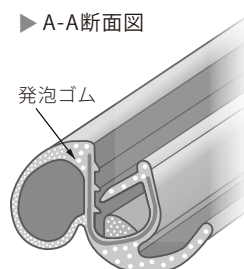


サッシュレスドア



A-A断面

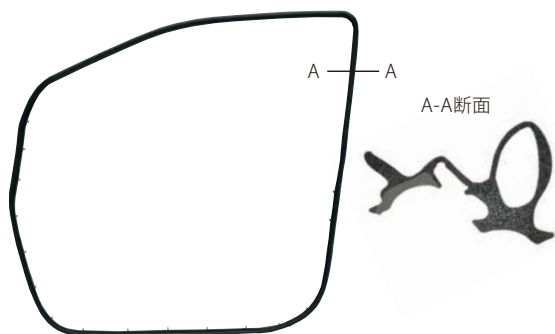
▶ A-A断面図



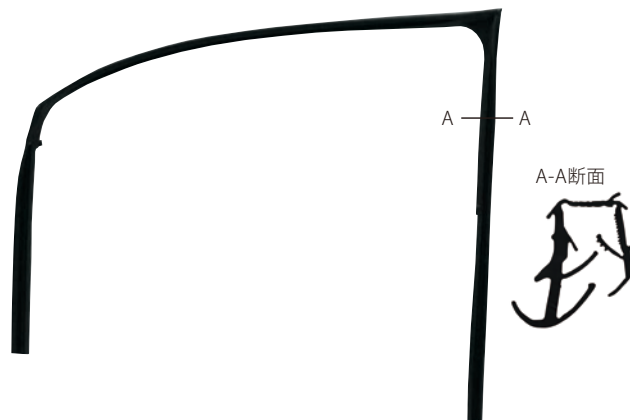
発泡ゴム

1 オープニングトリムウェザストリップ

材料開発・生産の技術によりゴムを発泡化し、約30%軽量化しました。

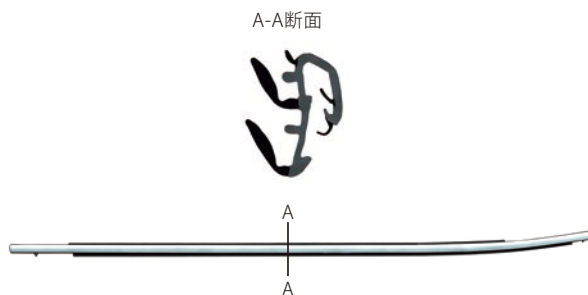


2 ドアウェザストリップ

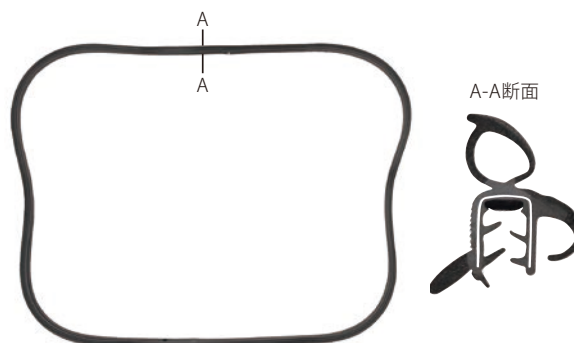


3 ドアガラスラン

ゴムと樹脂の混合材の採用や低比重化などにより、約30%軽量化しました。



4 アウターウェザストリップ



5 ラゲージウェザストリップ

LED製品

青色LEDの開発・生産で培ったノウハウや技術力を活かし、新たな付加価値を持つUV-C（深紫外線）LEDを開発・販売しています。今後は水銀ランプ代替による水銀フリーの社会に向け、UV-C LEDの性能向上を進め、水や空気などの除菌用途での利用拡大を推進します。



空間除菌

UV-Cパーソナル空間除菌脱臭装置

深紫外線と光触媒作用でのダブルでの除菌・脱臭効果を搭載。軽量（300g）で持ち運び可能。



表面除菌

UV-C除菌BOX

アルコールチェッカーや携帯電話などの身の回りの小物に深紫外線を照射し除菌。



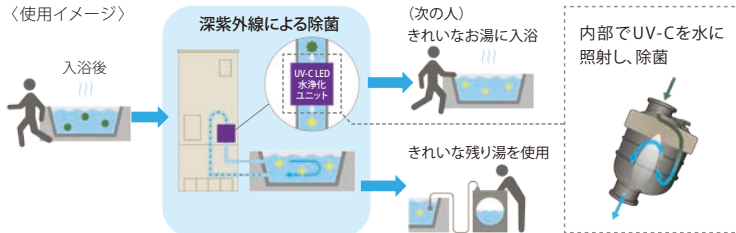
オンラインストアはこちら

水 浄 化 UV-C LED 小型水浄化ユニット

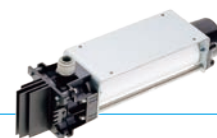
エコキュートに採用

「入浴後の除菌」や、「残り湯の除菌」により、安心して快適な入浴を実現します。

〈使用イメージ〉



UV-C LED 水浄化ユニット



ポータブル手洗いスタンド「WOSH」に採用

フィルターでのろ過・吸着や塩素での消毒に加え、UV-Cを照射することで高い浄水性能を実現します。

※WOTA株式会社から販売中



特機製品

自動車部品で培ったゴム・樹脂技術を活用し、新たな分野の製品を開発・販売しています。

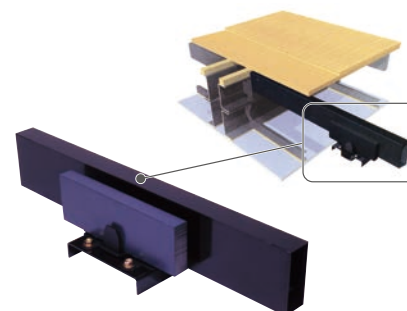


空気清浄機

機能・デザイン・カラーなど多様なバリエーションに対応しています。



農機・建機・産機の内外装部品



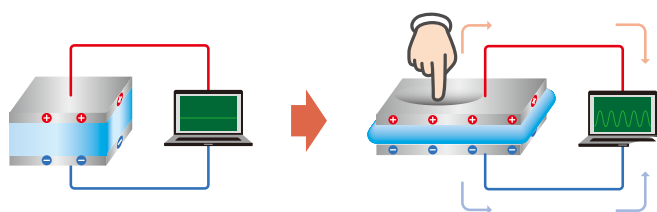
住宅用ダイナミックダンパー

制振ゴム技術を応用した、住宅の上下階での床衝撃音を抑え、静かで快適な環境をつくるための製品です。

■e-Rubber製品

電気と力で機能する次世代ゴム「e-Rubber」の開発を進めています。

センサ (力 → 電気信号)

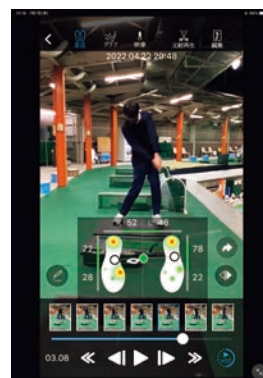


押す／引き延ばす
(電極にたまる電気の量が増える)

〈活用例〉



スマートインソール
(FEELSOLE)



ゴルフスイング時の体重移動を
可視化 (アプリ画面に表示)

■エシカルブランド^{リーズ} Re-S

クルマに搭載されるエアバッグ生地やレザーは、常に厳しい検査を通過し、製品化されます。一部の汚れや一箇所のほつれも製品として利用できません。そのような素材を新たな価値あるものに生まれ変わらせたいとの考えから、Re-S(リーズ)というブランドとして展開しています。

Re-Sに込めた想いは「Re-use」や「Re-born」の「Re」から始まり、環境に優しい活動を進めサステナビリティの「S」を高めることです。



オンライン
ショップは
こちら



①消防ホース／シートベルト端材活用のエアバッグトート
(染色協力(株)艶金／提携 芦森工業(株))

②本革端材／小径木活用したステーションリーグッズ
(提携 KINARI木工所)



スポーツブランド
アシックスとの
コラボ活動

エアバッグ端材活用したサステナブルスニーカー

沿革

創業以来培ってきたゴム・樹脂分野における独自の技術力を活かしたモノづくりを通じて、時代のニーズに応え、世界に新しい価値を提供しています。

設立～1970年代

豊田喜一郎氏のDNAを継承し
ゴム・樹脂部品を開発

1980年代～2000年代

研究・開発に尽力しグローバル企業へと成長

1949

1960

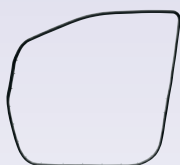
1970

1980

1990

2000

ゴム・樹脂分野の知見



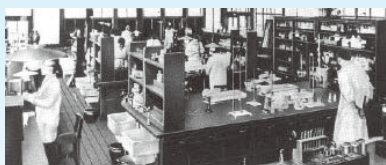
1950
ウェザーストリップ



1953
ブレーキホース



1954
樹脂射出ハンドル



1934
豊田自動織機製作所 ゴム研究部門



1982
樹脂フューエルフィルター
キャップ



1989
運転席用エアバッグ



1997
ゴムリサイクル技術



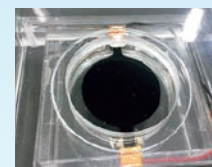
1998
カーテンエアバッグ



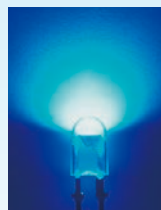
世界初
2003
ミリ波レーダ対応
エンブレム



世界初
2008
樹脂フューエルフィルター
パイプ



2007
e-Rubberの研究開始



世界初
1991
青色LED開発の成功認定

新規事業開発の経験

グローバルネットワーク

1957
春日工場稼働



1949
トヨタ自動車工業の
ゴム部門を母体に
「名古屋ゴム(株)」設立

1967
稲沢工場稼働

1973
「豊田合成(株)」
に改称

1976
森町工場稼働

1977
米国事務所設立
(イリノイ州)



1980
本社を現所在地
(愛知県清須市)に移転

1982
尾西工場
稼働



1986
TGミズーリ(株)設立



1995
北島技術センター設立



1999
豊田合成
ノースアメリカ(株)設立



2000
豊田合成ヨーロッパ(株)
設立



2001
豊田合成アジア(株)設立

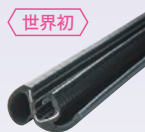
2010年代～未来

安心・安全、快適、脱炭素を軸に未来へ貢献

2010

2020

世界初



2010
軽量オープニングトリム
ウェザーストリップ



2017
大型ラジエータ
グリル



2020
超大型スピンドル
グリル



2021
歩行者保護
エアバッグ



2023
発光機能付き
ミリ波レーダ対応
エンブレム



2023
トップコートレス
ホットスタンプグリル



2019
樹脂ターボダクト



2020
高圧水素タンク



2022
CNF強化プラスチック



2023
小型ワイヤレス
充電ホルダ



2023
ヒータ付きアームレスト



2010
GaNパワー半導体の
研究開始



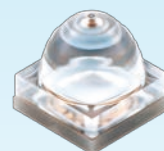
2021
UV-C高速
表面除菌装置



2021
スマートインソール



2022
次世代パワー半導体向け
「GaN基板の大口径化」に成功



2023
UV-C LEDの高出力化

2013
豊田合成東日本(株)設立



2018
(株)豊田合成インドネシア設立

2013
GDBRインダストリアコメルシオ(有)設立



2014
豊田合成イラプアトメキシコ(株)設立



2020
いなべ工場稼働



2022
豊田合成東日本(株)
宮城大衡工場稼働



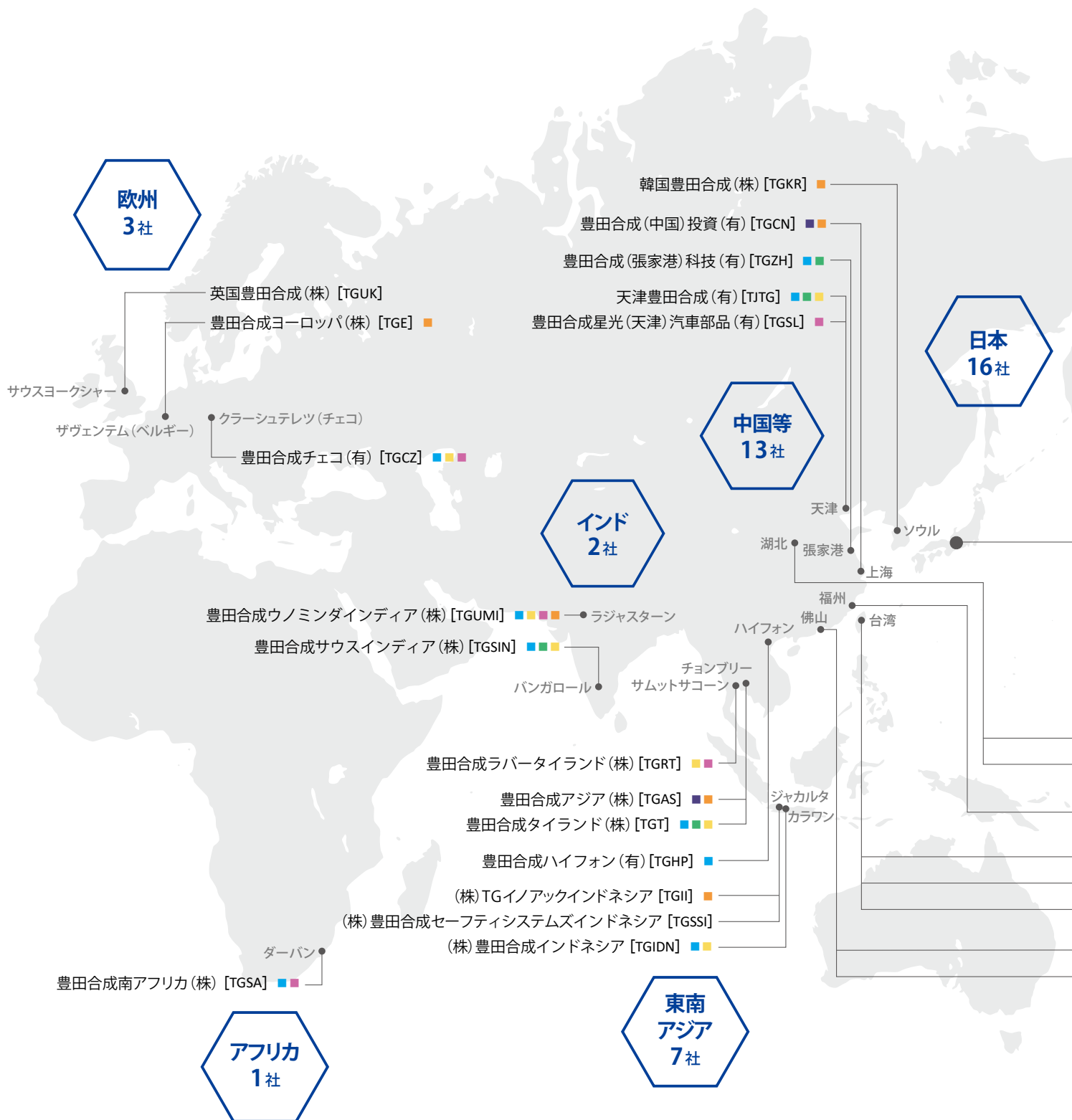
2023
豊田合成(佛山)汽車部品(有)
新工場稼働

グローバルネットワーク

(2024年10月1日現在)

16ヵ国/地域の60のグループ会社*でお客様のニーズにタイムリーにお応えします。

各地域に密着した営業・技術体制とグローバルで最適な生産・納入体制を整えています。*連結対象会社





生産品目／機能

- | | |
|---------------|----------------|
| ■ セーフティシステム製品 | □ ライフソリューション製品 |
| ■ 内外装部品 | ■ 統括拠点 |
| ■ 機能部品 | ■ 営業・技術開発拠点 |
| ■ ウェザストリップ製品 | [] 内は略称 |

- 豊田合成(株) ■■■■□■
- 一榮工業(株) ■
- 豊田合成日乃出(株) ■■
- 豊信合成(株) ■■
- 海洋ゴム(株) ■■
- TGウェルフェア(株)
- TGロジスティクス(株)
- TGメンテナンス(株)
- ティージーオブシード(株) ■
- (株) FTS ■
- TGAP(株) ■
- TGテクノ(株) ■
- (株) 中勢ゴム ■■
- 豊田合成東日本(株) ■■
- 豊田合成九州(株) ■■■■
- 芦森工業(株) ■

- 湖北豊田合成正奥橡塑密封科技(有) [TGZA] ■
- 一彬豊田合成(武漢) 汽车零部件(有) [YBTG] ■

- 福州福裕橡塑工業(有) [FZFY] ■

- 台裕橡膠工業(株) [TY] ■■
- 豊裕(株) [FY] ■■
- 豊晶光电(株) [TEOP] □

- 豊田合成(佛山) 橡塑(有) [TGFR] ■■
- 豊田合成(佛山) 汽車部品(有) [TGFP] ■■

北米
16社

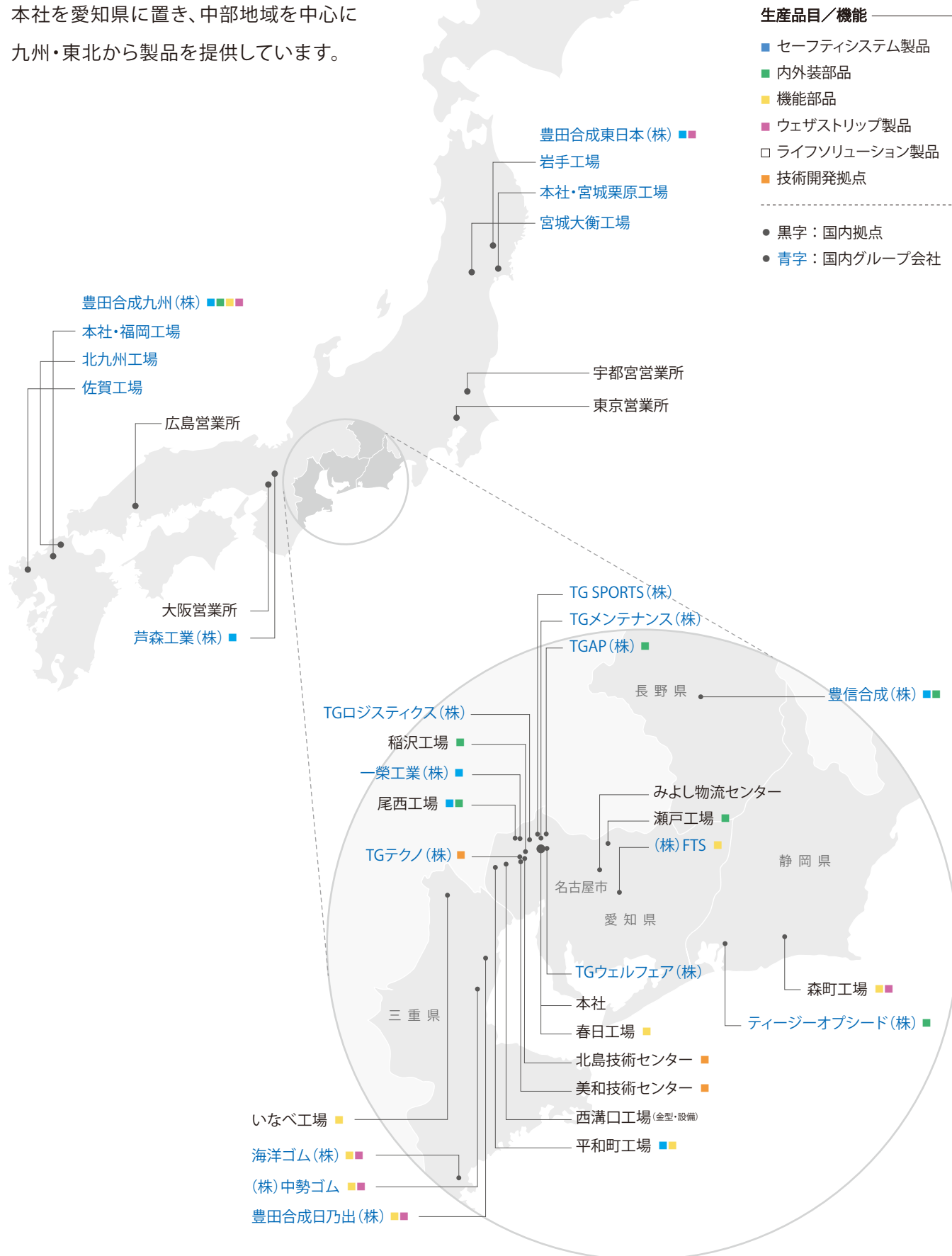
- TGケンタッキー(有) [TGKY] ■■
- TGオートモーティブシーリングケンタッキー(有) [TGASK] ■■
- 豊田合成ノースアメリカ(株) [TGNA] ■■
- 豊田合成パーソネルサービスノースアメリカ(株) [TGPS]
- TGRテクニカルセンター(有) [TGRTC] ■
- TGフルイドシステムズUSA(株) [TGFSUS] ■
- TGミント(株) [TGMINTO] ■
- 豊田合成ホールディングス(株) [TGH]
- ウォータービルTG(株) [WTG] ■
- ミズーリ
- ケンタッキー
- TGミズーリ(株) [TGMO] ■■
- テキサス
- マタモロス
- サン・ルイス・ポトシ
- イラプアト
- 豊田合成イラプアトメキシコ(株) [TGIMX] ■■
- 豊田合成オートモーティブシーリングメキシコ(株) [TGASMX] ■
- タペックスメキシカーナ(株) [TAPEX] ■
- 豊田合成ラバーメキシコ(株) [TGRMX] ■
- 豊田合成テキサス(有) [TGTX] ■
- 豊田合成ブラウズビルテキサス(有) [TGBTX]

- サンパウロ
- GDBRインダストリアコメルシオ(有) [GDBR] ■■
- ペクバルインダストリア(有) [Pecval] ■

南米
2社

国内ネットワーク

本社を愛知県に置き、中部地域を中心に九州・東北から製品を提供しています。



会 社 デ ー タ

会社概要

会 社 名	豊田合成株式会社	設 立	1949年6月15日	資本金	281億円
売上収益	1兆711億円(2023年度連結)	営業利益	677億円(2023年度連結)	R O E	10.6%(2023年度連結)
従業員数	38,951名(2023年度連結)				

役員一覧 (2024年6月14日現在)



取締役会長
宮崎 直樹



取締役社長・CEO
齋藤 克巳



取締役副社長・COO・CMO
安田 洋



取締役・執行役員・CHRO
岡 正規



取締役・執行役員・CTO
苗代 光博



社外取締役
松本 真由美



社外取締役
和田 節



社外取締役
古川 雅典



社外取締役
前田 茂樹



社外取締役
栗生 万琴



常勤監査役
大磯 健二



常勤監査役
鈴木 山人



社外監査役
加古 慈



社外監査役
桑山 斉



社外監査役
横井 正彦

執行役員	小笠原 豊	山本 直	長谷川 真人 (CSMO)	林 賢士	田中 伸恒	大谷 勝文 (CRO)
	Bijay Krishna Shrestha	岡田 靖	蜂須賀 正義 (CFO)	安藤 浩子		

豊田合成株式会社

〒452-8564 愛知県清須市春日長畑1番地

Tel:052-400-1055 Fax:052-409-7491

<https://www.toyoda-gosei.co.jp/>

2024.06. 8,000 TP Japan

